

にぎわいづくりの歩み



門前町ミーティング のこれまでの取り組み

R4年度～R6年度

本塩釜駅から表坂下とその付近の「門前町エリア」において、エリア関係者が主体となって賑わいのあるまちづくりを行うため、令和4年度から令和6年度の間に計8回のワークショップを実施しました。

門前町を語り合う

門前町のにぎわいづくりを考える前段階として、参加者同士のディスカッションを通し、門前町の「課題」や「強み」は何かを考え、門前町のにぎわいづくりに向けたアイデアの創出を図りました。



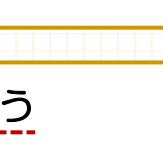
第4回

門前町のにぎわいづくりに向けたアクションアイデアを創出する

グループワークを行い、第3回で出されたアイデアの深堀りや、新たなアイデアの創出を図りました。

門前町の「にぎわい」を語り合う

第ゼロ回で出された意見を取りまとめ、分析を行い、門前町の「目指すべき姿」を定めました。また、門前町に必要な機能について、グループワークを通してアイデアを出し合いました。



第5回

門前町のにぎわいづくりに向けたアクションアイデアを創出する②

「歩行者利便増進道路（ほこみち）」の指定を見据えた道路活用実験イベントの開催に向け、「どのような形で参画できるか」をグループに分かれて検討しました。

門前町の「未来」を語り合う

第1回で定めた門前町の「目指すべき姿」を基に宮城大学で作成したビジョンデザインを共有し、門前町のにぎわいづくりに必要な機能について、更なるアイデアの創出を図りました。



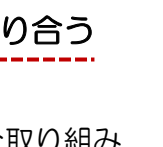
第6回

門前町のにぎわいづくりに向けたアクションアイデアを創出する③

道路活用実験イベントに向けて、第5回で出されたアイデアをブラッシュアップしつつ、レイアウトや準備物、当日の役割分担などの具体的な内容について話し合いました。

門前町での「アクション」を語り合う

門前町のにぎわいづくりに必要な取り組みや整備等について、グループワークを通してアイデア出しを行いました。



第7回

門前町のにぎわいづくりにおける自身の役割を考える

道路活用実験イベントについて、各々がどのような形で貢献できたかを振り返り、門前町のにぎわいを生み出すために、これから自分にできることは何かを考えました。



門前町を目指すべき姿

ワークショップで参加者から出された意見を基に、門前町活性化のビジョンデザインを作成しました。

R4年度

意見を取りまとめたところ、以下のような門前町の理想の姿が見えてきました。

- ◆歴史を学びながら美味しい食べ歩きができる町
- ◆神社を中心とした老若男女が集うスポット

ビジョンデザインを参考にしつつ、今後も意見交換を進め、門前町のにぎわいづくりに向けた検討を行っていきます。



©2023 宮城大学地域資源マネジメント研究室

道路活用実験イベント「門前町カフェタイム」

R5年度・R6年度

門前町のにぎわいづくりに向けた機運醸成を図るため、また、「ほこみち制度」の活用に向け、令和5年度および令和6年度に実証実験イベントを実施しました。

第1回

日程：令和5年11月11日（土）・12日（日）10時～15時
※11日は天候不良のため中止。

場所：壺番館（本町1-1）～鹽竈神社表坂下の鹽竈海道周辺

沿道へのオープンカフェ空間の設置や空地の活用などを行いました。



沿道でのギター演奏



沿道での販売

第2回

日程：令和6年10月18日（金）・19日（土）10時～15時

場所：壺番館（本町1-1）～鹽竈神社表坂下の鹽竈海道および本町通り

沿道での演舞の披露



空き店舗を活用した朝顔の掲出

空き地への遊び場設置



高校生によるおみくじガチャ